

このコーナーでは、川の源流域から海岸まで、福島県のさまざまな水辺で暮らす生き物たちと、それぞれがすむ環境をできるだけ自然に近い状態で展示しています。私たちの生活に身近な、さまざまな水辺をのぞくことができます。

(5) 水田、小川、湧水

池や川の他にも、私たちの生活のまわりには、さまざまな水辺があります。水田や小川などのように人間の生活と深く結びついた環境の中でも、メダカやドジョウなどの生き物たちが暮らしています。



▲ドジョウ

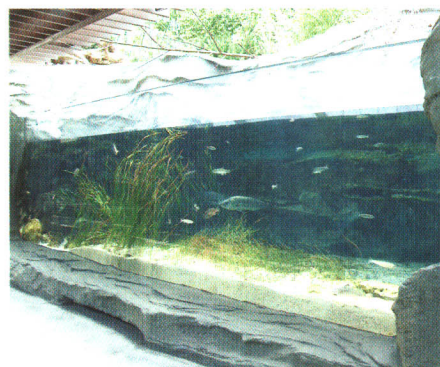


▲ふくしまの川と沿岸

(6) 海岸

広い海の中では、どこにも同じように生き物たちがいるわけではありません。

ここでは、さまざまな海岸の中で、特に多くの生物にとって重要な、アマモがはえている砂地の海岸と、さまざまな海藻が茂る波の荒い磯場の海岸が展示してあります。それぞれの環境による生き物たちの違いを観察してみましょう。



▲砂地の海岸

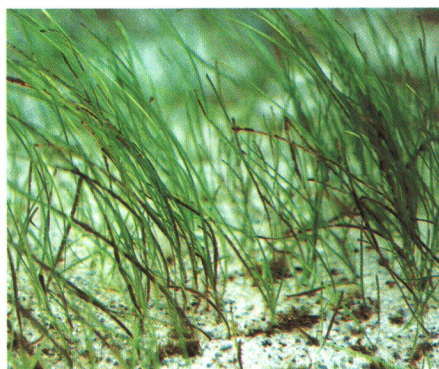


▲岩場の海岸

(7) 海藻と海草

一般に海の中の植物は「かいそう」と呼ばれます。しかし、実はその中には二つの意味が含まれます。1つは、アマモ、コアマモ、スガモなどの海草で、この仲間は、陸上の多くの植物と同じで、花を咲か

せ種子をつくります。これに対して、ワカメやアラメなどは海藻で、これらの仲間は、体の作りなども陸上の植物とは異なっています。



▲コアマモ



▲アラメ